

読書ボランティア紹介

NPO 法人夢ネットワーク（伊達市立大田小学校）

子ども読書推進のために

NPO 法人夢ネットワーク（伊達市）

2月17日（水）訪問

登録人数

24名（H28.2 現在）

創設年月

平成16年

活動場所

伊達市立大田小学校、子育て支援センター、幼稚園
保育園、放課後児童クラブ、高校、高齢者施設、保原中央交流館

活動内容

よみきかせ、わらべうた、ペープサート、パネルシアター、手遊び
保原中央交流館図書室業務支援、伊達市「ブックスタート」事業支援

表彰関係

第3回 読み聞かせボランティア大賞 文部科学大臣賞（H19）



平成13年に「グループゆめポケット」として活動をはじめ、その後NPO法人化に向けた準備を進めました。活動の趣旨に賛同した「保原町図書委員会」（活動実績20年）が合流し、平成16年「NPO法人夢ネットワーク」としての活動がスタートしました。様々な活動に対応するため、毎月2回団体内で自主研修会を行い選書や読み合わせを行っています。月に10～15回程度の活動がありますが、活動の枠を今以上に広げたいと考えるなど大変意欲的に取り組んでいます。

活動の実際

訪問当日は1・2年生向けのよみきかせ「昼読」が行われました。大田小では毎月朝読と昼読を実施しているため、児童とボランティアさんが互いに顔見知りであり、大変打ち解けた状態で会は進行了ました。

プログラムは、「ゆうたはともだち」「はなをくんくん」「ふゆめがっしょうだん」のよみきかせです。ボランティアさんは児童の反応一つ一つを楽しまれ、つぶやきを拾いながら読み進めていました。「ふゆめがっしょうだん」は科学絵本であり、木の芽の拡大写真と詩を合わせた絵本です。木の芽の様々な表情に児童は声を上げて楽しんでいました。その後ボランティアさんからの計らいで、木の芽の実物とルーペが手渡されました。普段は見過ごしてしまう身の回りにある木の枝先に、可愛らしい表情をした木の芽が出ていることを見つけ大喜びでした。今の時期ならではの選書です。よみきかせでは物語絵本が使われることが多いのですが、科学絵本を通して興味関心が広がることが期待されます。

よみきかせ後は学校のホームページに活動の様子や使用した本が紹介されます。家庭においても、本についての話題を増やして欲しいとの願いが込められているそうです。

